

第123回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2022年7月6日（水）18：30～19：45

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 14名

3 会議内容

<新規提案>

（1）気になる本で話そう

【概要】

内館恵子さんの著書『今度生まれたら』を題材とし、人生100年時代と言われる長寿社会において、今までの価値観とは違う生き方があるのではないかと。今の自分が次に生まれたらどんな人生を歩むのか、参加者との意見交換の中で考えていきたい。

【意見】

・参加者の想定は？

だれでも、どんな年代でも。前回のイベントで、人生の先輩方からたくさん学ばせていただいた、この経験をぜひ若い人にもしてほしいと思う。

・若い人にも来てもらいたいのであれば、題材を変えてみてはどうか。

・20人もの大人数で意見を言い合うイベントをどうやって回したのか。

事前に、適当に話をふること、話したくなければ出来ないジャスチャーをしてもらうこと、全員に話を聞きたいため話が長い場合は途中でお声がけすることなどを説明している。

・アウトプットがあまりできていないのではないかと。こんな話があったと公にすることで新しく来る参加者もいるのではないかと。

公にするのであれば、事前にお伝えしなければならない。しかし、そうなると言いたいことが言えなくなってしまうのではないかとと思うので、自由に思いを語れる場を保つため避けたい。

（2）オリジナルすごろくを作ろう

【概要】

・小学3年生～6年生を対象に、自分でテーマを決めて、絵や写真を貼ってオリジナルのすごろくを作成する3日間の講座を開催したい。

・コロナ前は20名で実施していたが、コロナ対策で半数に。イベントに参加できない代わりに、オリジナル双六シートと説明書を配り、家でも作れるようにする。作品を提出した子には、

オリジナルグッズを渡す。

【意見】

- ・オリジナルグッズは企画者が準備するのか。

はい

- ・3日間の大まかな予定はあるのか

1日目：テーマ決め、2日目：起承転結やイベントマスの設定、3日目：仕上げと発表。ただ、子どもによって進捗は様々。時間が空いたら、つくった双六で遊ぶ（接触に気をつけながら）

- ・テーマを決められない子向けに、予備のテーマを用意しておいてはどうか。

自分で考えたテーマであるからこそ作り上げたときの達成感がある。決められない子にはいくつか質問をして、好きなものや興味のあることを知り、テーマを決めてもらう。

(3) ことば蔵でフラダンスショー

【概要】

・ハワイアンフラの楽しさを知っていただくショーを開催したい。ショーの後は、手の動きだけで楽しめる簡単な踊りを紹介。最後にみんなで一緒に踊りたい。

- ・9月の第一木曜日を開催日としたい。

【意見】

- ・ショーと踊りのレクチャーの時間の配分は？

ショーが40分、講座20分、合計1時間の予定

- ・踊りのレクチャーがあるということだが、動きやすい服装などの指定はあるか

座ったままで楽しめるものにするので、特に指定はしない

- ・フラを紹介するための配布資料はあるか

想定していない

< イベント実施報告 >

(1) 気になる本で話そう

- ・樋口恵子さんの著書『老いの福袋 - あっばれ！ころばぬ先の知恵88』を題材とし参加者同士で話し合うイベントを行った。参加者は18人。
- ・だれでも参加OKとしたが、タイトルの影響かご年配の方が多く集まり、それぞれが老後を生きている中で大切にしていることを語り合った。

(2) キッズ・サバイバー講座（地震編）

- ・5月29日、参加者は7人。子ども向けに、災害が起きたとき、身を守る方法を考える講座を行った。
- ・AEDの使い方やハザードマップの重要性など、事前準備の大切さを伝えた。

(3) ファミリーワークショップ

- ・ 参加者は51人。3部制で各部18人定員とし、5つのブースを回って家族との触れ合いを楽しむイベントを行った。
- ・ ほとんどのご家族が全てのブースを回り切り、ハンドメイドのお魚や工作したお弁当を持って帰った。

(4) 食と健康！災害時に備えよう

- ・ 参加者は16人。栄養士・健康管理士と防災士の企画者が協力し、災害時に心身ともに健康でいるための食事内容や運動習慣についての講座と避難所のできる簡単なストレッチを行った。
- ・ 阪神淡路大震災などの災害を経験した参加者からも、様々な情報提供があった。

(5) 漫画を語ろう！

- ・ 参加者は7人。テーマは「擬人化」。細胞や国、神仏など様々な題材の擬人化漫画が紹介された。
- ・ 次回は7月27日(水)18時30分～ テーマ「偲びたい漫画」で開催。

(6) 田辺聖子先生を偲ぶ「朗読ライブ」

- ・ 参加者は24人。エフエムいたみパーソナリティの企画者による田辺聖子著「ひねくれ一茶」「私の大阪八景」の他、県立伊丹北高校放送部の学生が1名朗読を行った。
- ・ 40分以上の朗読を行ったが、長すぎなかったか少々不安が残る。今後も定期的に続けていきたい。

4 次回の運営会議 **2022年8月3日(水)18:30～** ことば蔵1階 交流フロア